



城郭遺跡です。

このように、鍋倉城跡は大規模な中世山城の遺構を良好に残し、それをほとんど改変することなく近世城郭として利用し、戦国時代から明治維新まで存続した極めて貴重な城郭遺跡です。

鍋倉城跡は、遠野市の市街地南端にある鍋倉山(標高344m)にある岩手県屈指の大規模な中世山城跡です。遠野は、北上川流域の内陸部と三陸沿岸部の中間に位置し、交通の要衝として経済的、政治的に重要な場所でした。鍋倉山は遠野盆地中心平野部に突出した半島状の地形で、東側と北側は来内川、西側は猿ヶ石川に囲まれた天然の要害です。この城は、天正年間(1573-92)に遠野を治めていた戦国大名の阿曾沼広郷によって築かれたと伝わっています。それまで阿曾沼氏の居城は、鍋倉城の北北西約3kmの護摩山に築かれた横田城でした。そのため、当初は鍋倉城を横田城と呼んでいた。この頃の城の入口は、後の南部氏の時代に西御門と呼ばれたところであると考えられます。阿曾沼氏は豊田秀吉に礼を欠いたため大名の地位を失い、南部家の配下となりました。さらに、慶長5年(1600)には家臣の謀反により遠野を追われ、城代が遠野を治めることとなります。その後、寛永4年(1627)には盛岡藩主南部利直の命により、筆頭家老の南部(八戸)直義が、八戸の根城から所替えし、遠野に入りました。南部氏のものとなつた鍋倉城は、搦手の堅堀、南館の堅堀を新たに普請、大手口の位置の変更などの改修はありましたが、大規模な改変はありませんでした。遠野は近世においても仙台藩との藩境を守る戦略的拠点であったため、領内裁判権や独自の行政組織を持ち、盛岡に次ぐ規模の城下町を形成しました。鍋倉城はその中心拠点として江戸時代を通じて機能してきましたが、明治維新により、明治2年(1869)に信州松本藩によって建物等が破壊され廃城となりました。



遠野城下町資料館
 岩手県遠野市中央通り4-6 ☎0198-62-7887 (とおの物語の館)
 予約制 (事前に電話で予約ください)
 交易の拠点として賑わった、江戸時代の城下町・遠野の姿を紹介。遠野南部家ゆかりの刀や甲冑・書物・商家の生活用品のほか、本丸跡の発掘出土品も展示。



遠野まちなか・ドキ・土器館
 岩手県遠野市新町5-3 ☎0198-62-7820
 開館時間 10時～16時 休館日 月曜日(祝日)・振替休日
 ～1月は土曜日、日曜日も休館 入館料 無料
 遠野市内から出土した土器や石器などの考古資料を展示。随時展示替えが行われるが、鍋倉城で出土した資料を展示しているところもある。



遠野市立博物館
 岩手県遠野市東館町3-9 ☎0198-62-2340
 開館時間 9時～17時 休館日 5～10月の月曜日、11～3月の月曜日・月末日(月末日が祝日曜日の場合は開館)、年末年始、資料特別整理日(11月24～30日、1月28～31日)
 入館料 一般310円 高校生以下160円
 遠野の歴史や自然、暮らし、『遠野物語』の世界を楽しむ学べる。遠野南部家蔵所出土品や遠野南部家ゆかりの甲冑などを常設展示している。



本丸屋敷跡



本丸入口石垣跡

本丸跡では平成2年(1990)度から平成10年(1998)度までに5回わたって発掘調査が行われました。その結果、慶安4年(1651)の火災後に建てられた本丸屋敷と推定される礎石建物、それに先行する礎石建物3棟、掘立柱建物1棟、柵列、本丸屋敷の御玄関に至る通路の石垣、御土蔵とみられる礎石建物、工房跡とみられる竪穴遺構等が検出されました。本丸屋敷と推定される礎石建物の遺構は「鍋倉城本丸屋敷絵図」(安政3年(1856)以降作成)とピタリと符合します。それによって、屋敷の正確な位置と、間取り、部屋の名前が明らかになっています。



鍋倉城跡

国指定史跡

Nabekura Castle Ruins



御城印販売中

全国300以上の城で販売されている御城印。「南部お城めぐり」として、南部氏ゆかりのお城が連携して販売しています。通信販売は行っていないので、お城を訪れた記念として現地でお買い求めください。なお、売り上げの一部は、各城の保存や活用などにあてられます。



鍋倉城の御城印は、「国指定史跡 遠野南部鍋倉城」の筆文字に、城主であった遠野南部家の家紋である「向鶴紋」及び「九曜紋」を配置しています。台紙左下には鍋倉城の女殿様「清心尼公」のイラストスタンプがあしらわれています。国史跡指定を機に、筆文字を一新しレイアウトを見直した新しいデザインになりました。

1枚 300円

販売先 遠野市立博物館
 岩手県遠野市東館町3-9 ☎0198-62-2340
 開館時間 9時～17時
 休館日等の情報は「関連施設」をご覧ください

冬期間(12月頃～4月上旬頃)の見学について

- ・積雪のため城に登る車道が通行止めになります
- ・三の丸さわやかトイレ、展望台が閉鎖になります
- ・冬期間は城下から眺めてご覧になることをお勧めします

ご注意

- ・野生動物が生息していますので見かけたら近づかないようにご注意ください
- ・動植物の採取はご遠慮ください
- ・散策路以外の山林等は未整備で危険が伴いますので立ち入らないでください
- ・史跡指定範囲外は私有地となりますので無断で立ち入らないでください
- ・ゴミはお持ち帰りください
- ・南部神社境内の駐車場は参拝者用ですので、見学の際の駐車はご遠慮ください
- ・城内への車道は幅が狭いので通行にご注意ください

鍋倉城跡マップ



どるい土塁
外敵の侵入を防ぐため土を堤状に盛り上げた構築物を土塁という。本丸西側、武者溜、空堀、水溜堀など、城内の様々な場所に残っている。



みずためぼり 水溜堀
空堀の北側には水溜堀が並ぶ。現在は水が溜まっていないが、かつては水を溜め、有事の際には空堀側の土塁を切り、水を流して外敵の侵入を防ごうとしたという。西側には土塁が残る。



三の丸
遠野南部家の重臣、中館氏と福田氏の屋敷があった。中世には東館と呼ばれていた。現在は展望台や庭園が整備されている。



遠野高校

岩手県遠野地区合同庁舎

西御門 (惣門)

経ヶ沢稲荷

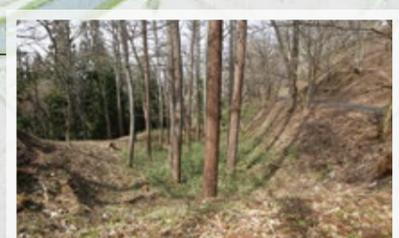
古館



旧大手門跡
築城当初はここに大手門があった。この門は二階建ての楼門だったというが、南部氏の時代に簡素な造りに改められたという。南部氏の時代に大手門は本丸の東口に移された。現在でも残る高い土塁などから、厳重に守りを固めていた様子がうかがえる。



本丸
城の中心となる曲輪で、城主の屋敷があった。屋根には瓦は葺かれず茅葺だった。礎石や土塁が今も残っている。



からぼり ほりみち 空堀 (堀道)
本丸西側にある空堀状の堀道。外敵の侵入を防ぐため高い土塁が築かれ、かつては門があった。この道は本丸と二の丸へ続く。



二の丸
遠野南部家の筆頭家老、新田氏の屋敷があった。代々小十郎を襲名した。中世には南館と呼ばれていた。昭和46年に城下の大慈寺からここに遠野南部家墓所が移転された。御門の礎石が残っている。



城内馬場
約200mの直線を持つ、城内に設けられた馬場。これほどの馬場が場内にある山城はめずらしい。馬産地遠野を象徴する遺構。

凡例	
青文字	現代の施設名
黒文字	遺構名 ()内は南部氏入部前の遺構名
●	門
○	土塁・石垣
◆	井戸跡
—	車道
—	散策路
---	国史跡指定範囲

